

楽しく安全に参加するために・・・

活動中の「危険要因」と「注意すること」

天空の里 いもい農場は、農業や食、環境をテーマとした自然体験の活動です。この活動は、通常学ぶことのできない様々な気づきや発見がありますが、日常生活にない危険性をはらんでいます。事故やケガを未然に防ぐために、一読をお願いします。

1. 活動全般での留意事項

- (1) 新型コロナウイルス感染症の感染防止に、ご理解とご協力をお願いします。
- (2) 安全を第一に考え、ケガなどが発生しないように参加者同士で気をつけあいましょう。
- (3) 屋外の活動は、脱水症状を起こすことが考えられます。帽子の着用とこまめに水分補給や休憩を行いましょう。

2. フィールドでの注意点

(1) 畑や田んぼ

危険要因	注意すること
畑や田んぼまでの農道	坂道で走らない。道中のリンゴの木や野菜などにさわらない。
カマ、剪定ハサミ、カッター、クワ、ノコギリ等の鋭利な刃物	危険があることを認識し、安全な使い方をスタッフに確認をする。定位置管理を徹底する。
耕運機、刈り払い機	作業中は近づかない。子どもが近づかないように目を配る。
田んぼや川の水温	適切に休息を取り、陸上に上げる。
落石	斜面から石を転がさない。斜面の脇を通過するときは、上からの落石に気をつける。
転落（農道、田んぼの畦、社会会館グラウンドの端、旧プール）	崖には近づかない。子どもが近づかないように目を配る。特に、田んぼの畦、社会会館のグラウンドの端は危険。旧プールは、立ち入り禁止。
落雷	芋井社会会館に避難する。緊急を要する時は、リンゴ畑の小屋に避難。
電気柵	さわらない。さわっている場合は注意をする。
熊、ハチ、ヘビ、マダニ等	草の陰に毒蛇が潜んでいる可能性がある。ハチは特に秋が凶暴となり、リンゴなどの甘い物によってくる。ハチが近づいた時は、通り過ぎるまでジッと待つ。熊に遭遇しないよう声を出す。マダニに咬まれないよう、長袖長ズボンを着用する。
湧き水、生水	飲まない。水に触れた後は、芋井社会会館の水道で良く手を洗う。
自生している植物	食べない。活動中に採取する場合は、スタッフに確認する。

ポイズンリムーバーや絆創膏などの簡易救急セットは、スタッフが常時持ち歩いています。傷口を洗い流すきれいな水は、畑の備品小屋と社会会館台所に常備してあります。

(2) 芋井社会会館

危険要因	注意すること
食中毒	調理前の手洗いとアルコール使用の徹底。アクアシモでノロ対策。 体調が悪いときは調理に関わらない。エプロン、三角巾の着用。
ガス	換気扇を回す。窓を開ける。
やけど	熱い鍋に気をつける。湯を入れたポットに近づかないように目を配る。
障子、ふすま、窓ガラス	屋内では走り回らない。障子やふすまを破かない・穴をあけない。
机	机を出すときは、机の角で頭をぶつけないよう、回りに子どもがいないか確認する。机の脚を立てたり収納する際に指を挟まない。畳保護のため、畳の上では机を引きずらない。

- ① 芋井社会会館は、芋井地区住民自治協議会で維持管理している公共の施設です。地元のみなさんが使う施設なので、大切に使いましょう。
- ② 畑や田んぼでの作業中は、安全管理のため施錠をします。作業中にトイレを使いたい場合は、正面玄関向かいにあるポストに鍵を入れてあるので開錠してください。玄関は「外側の引き戸」と「風除室内にある引き戸」があります。風除室内にある引き戸のみ施錠対象です。鍵の紛失には十分注意をお願いします。
- ③ 貴重品の管理は、各自の判断でお願いします。
- ④ 毎回の活動終了後、使用前より綺麗になるよう、全員で掃除（台所、和室、廊下、玄関）をします。

3. 万が一の保障と天空の里 いもい農場の賠償責任範囲

活動中のケガや事故にあった時の保障のために、コープながので加入している行事保険があります。
万が一の時の天空の里 いもい農場賠償責任の範囲は、行事保険の範囲とします。 行事保険を使う場合は、事務局を通じて対応を行いますのでご相談ください。

【行事保険の保障金額】

見舞金	保証金額 一名当たりの	通院日額	1,500 円（事故の日から 180 以内の通院で 90 日を限度）
		入院日額	2,500 円（事故の日から 180 日以内の入院）
		後遺障害	300 万円（ケガのために事故の日より 180 日以内に後遺障害が生じた場合、その程度に応じて保障、医師の診断書が必要）
		死亡	300 万円（ケガのために事故の日より 180 日以内に死亡した場合）
賠償制度	限度額 補填	身体賠償	1 名 3,000 万円、1 事故 1 億円（免責 1,000 円）
		財物賠償	1 事故 1,000 万円（免責 1,000 円）
		預かり物賠償	1 事故 500 万円（保険期間中）（免責 1,000 円）

※ 保障対象の判断は、保険会社が行います。

4. 事故発生時のフロー

事故発生→冷静になる、自身の身の安全の確保、事故者以外の人々の安全確保→けが人の救護・手当
→緊急連絡（救急・消防 119 番）→医療機関に搬送

お願い 天空の里 いもい農場は有志が集まったボランティア団体のため、活動のプロではありません。運営上の安全には最大限配慮を致しますが、至らぬ所は、皆さんのフォローが頼りです。安全で楽しい活動にしたいので、皆さんのお力添えをよろしくお願いします。